

岩手大学環境マネジメント学生委員会の取り組み

岩手大学環境マネジメント学生委員会
2021年度委員長

ふるかわ ひなた
古川 陽大

岩手大学環境マネジメント学生委員会について

岩手大学環境マネジメント学生委員会（通称「EMS学生委員会」）は2008年に有志10名ほどで発足しました。当委員会は岩手大学の環境方針に従い、学生が主体的に大学の環境マネジメントの運用と構築に貢献することを目的とし、大学および周辺地域における環境の継続的改善のために活動することを基本理念として活動しています。

現在は65名（2022年度11月現在）が在籍し、学部学科関係なく委員が集まっています。学内での環境活動にとどまらず、周辺地域や他大学と連携しながら、幅広い環境問題に対応した活動を展開しています。

環境学習講座の実施

私たちEMS学生委員会は学生や地域の子供たちに対する環境教育に力を入れて活動しています。その代表例として2021年11月に岩手県盛岡市と共同で



写真1 環境学習講座

市内の小学生の親子を対象に実施した「環境学習講座」があります（写真1）。不要になった衣類をエコバッグにリメイクするワークショップや環境に関するクイズを通じて、環境問題の現状を学ぶだけでなく、エコバッグを積極的に利用することでプラスチックごみ削減に貢献できることを実感してもらう場となりました。

環境学習講座に向けて委員同士で勉強会を開くなど協同で取り組む過程を通じて、子どもたちのみならず、私たち大学生にとっても環境問題に対する知見を深められる機会となりました。

ファストファッション問題への取り組み

ファストファッションとはトレンドを取り入れつつ低価格な衣類を短いサイクルで提供するブランドのことをいいます。現在、これらの製造過程での環境汚染や大量廃棄が大きな問題となっています。



写真2 学祭でのフリマ

当委員会では「ファストファッション」から「サステナブルファッション」への転換を推進することを目的とした活動を行なっています。2021年度は不要になった衣類をマスクにリメイクするワークショップを開き、ファストファッション問題に対して自分たちにできることを考える機会を提供しました。2022年度はフリマを開催し、古着を販売しました（写真2）。古着に「エコ」という付加価値を付けることでよりオシャレの楽しみ方が広がるとともに、参加者にとっても環境意識も高まる機会となっています。

ハーバリウムのワークショップ

ハーバリウムとはドライフラワーを瓶の中に入れて、専用のオイルに浸し、植物の瑞々しさや美しい発色を長期間楽しめる人気のインテリアです。空きびんを捨てずにハーバリウムへ再利用することで楽しくリサイクル活動ができること、自分好みの小物を簡単に製作できることが大きな魅力です。学祭や地域の学校でハーバリウムの製作体験会を開くことで、リサイクルの魅力を伝える活動を行なっています（写真3）。



写真3 岩手県立杜陵高校でのハーバリウム製作体験会

省エネ普及活動

グリーンキャンパス活動の一つとして、学内緑化と室温上昇の抑制を目的として毎年、春から秋にかけて大学図書館の壁面に西洋アサガオのグリーンカーテンを設置しています（写真4）。このグリーンカーテンには景観を良くするのみならず、壁面温度の低下、直射日光の遮蔽、大気中のCO₂を吸収するといった効果が期待されています。

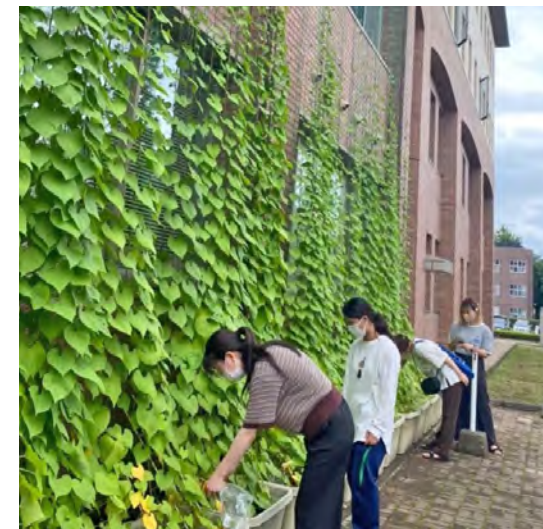


写真4 グリーンカーテン

再生可能エネルギーに関する環境教育活動とし、サボニウス型風力発電機の試作し、地域イベントに参加、展示と再エネに関する教育活動を行っています。

これらの活動を通して少しでも環境に対して興味を持ってもらいたいと考えています。



次のバトンタッチ先は ▶ 鳥取環境大学 学生EMC委員会！